企画提案書

・企画提案書の各記入欄の大きさは変更してよい。

・各記入欄の記入時の補足情報として記載している「※」は削除したうえで、提案内容を記載すること

・企業名、製品名及びそれらを連想させる名称は記載しないこと

|  |  |
| --- | --- |
| 提案事業名 |  |
| １.技術力 |
| （１）機能分担の適正な実施　図書館への質問には大きく分けてインフォメーションとレファレンスがあるが、インフォメーションへの対応とレファレンスへの対応について、機能を分担し、適切に表示することができるか |
| ※　入力された質問から、どのように回答を表示するに至るかを明記すること。また、設定された回答以外の返答がされる可能性についても明記すること。 |
| （２）インフォメーションにおける応対の正確さ　入力された質問事項を理解し、事前に設定された回答を適切に表示することができるか |
| ※　入力された質問から、どのように回答を表示するに至るかを明記すること。また、設定された回答以外の返答がされる可能性についても明記すること。 |
| （３）個人情報の入力防止　利用者がサービスを使用する前に、個人情報を入力してはならない旨のメッセージを表示することができるか |
| ※　どのようなタイミングで、どのようなメッセージを表示するかを明記すること。 |
| （４）画面デザイン　サービス画面が快適に利用できるデザインかどうか |
| ※　サービス画面やチャットのやり取りについて、イメージ図を添付すること。 |
| （５）システム稼働の安定性24時間稼働できるシステムかどうか |
| ※　システムが稼働できる時間帯を明記すること。また、令和元年10月から令和２年３月までの間で、メンテナンス等によりシステム環境を停止する必要がある場合には、その期間を具体的に明記すること。 |
| （６）アクセス負荷への対応力　少なくとも１月当たり5万件のアクセスに耐え得るシステム環境かどうか |
| ※　システム環境が対応できるアクセス件数を、具体的に明記すること。 |
| （７）セキュリティ対策　適切なセキュリティ対策を講じることができるかどうか |
| ※　サーバの安全性、防御や検知機能について、どのようなセキュリティ対策を講じるかを明記すること。 |
| ２．実験内容 |
| （１）独自性　他社と比較して、実験内容に独自性があるかどうか |
| ※　実証実験内容について、都が比較できるよう具体化して明記すること。 |
| （２）機能の新規性　本機能について、図書館ではじめての実証実験であるかどうか。 |
| ※　はじめての場合はその旨、そうでない場合は複数回実証実験を行う理由を明記すること。 |
| （３）都立図書館業務との親和性都立図書館ならではの機能に親和性があるかどうか |
| ※　都立図書館業務の特色への対応を明記すること。 |
| ３．事業の遂行能力 |
| （１）実施スケジュール |
| ※　事前調整、実証実験の実施及び実証結果の提供における各作業を具体化して明記すること。 |
| （２）実施体制 |
| ※　責任者、担当者、緊急連絡先を含めて明記すること。 |
| （３）利用実績 |
| ※　AIを利用したサービスの提供実績を明記すること。 |